

第3回蓬田村新庁舎使い方ワークショップ

(1) 概要

- ・開催日時：令和5年3月4日(土) 13時30分～15時30分
- ・開催場所：蓬田村ふるさと総合センター

(2) ワークショップのテーマ

【私達のサードプレイスにするために】

※サードプレイスとは、自宅や職場、学校とは別の心地よい第3の居場所

(3) ワークショップの記録

新庁舎を私達のサードプレイスにするためにどうしたらよいか、新庁舎建設スケジュールと図面をもとにグループワークを行いました。内容は下記のとおりです。

第3回蓬田村新庁舎使い方ワークショップ集合写真



A班 **村民広場** を私達のサードプレイス **イベント会場** にするために

子ども会 月1回

① 少人数でお茶会 (料理教室)

R7 8月スタート
年齢制限なし
サークルをつくる

ふるセン
↓
役場で提供

持ち込みOK

約3年

(季節ごとのイベント)
・クリスマス
・冬祭り
(村民祭)
会場移転

スケジュール

年	2023 (令和5年)					2024 (令和6年)					2025 (令和7年)														
月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
工事																									



村民広場を私達のサードプレイス(イベント会場)にするために

私達のグループでは、始めは少人数の集まりからサークルを作って大きいイベントへと繋げていきたいと思ひます。最初は、村民ホールなどで各自が持参したお菓子や飲み物を持ち寄ってお茶会を令和7年8月から月1回程度開催し、徐々にサークルとして活動し、大きいイベントを行いたいと思ひます。

新庁舎には、調理室が無いので、ふるさと総合センターで料理を作り、新庁舎の村民ホールや村民広場の中と外の空間を繋いで、料理を提供することで、新庁舎への関心が高まると思ひます。これは、時間が掛かると思ひますので令和7年の1、2月頃から行いたいと考えています。

最終的には大きいイベントを行いたいので、季節毎のイベントであるハロウィンやクリスマス、冬祭り、村民祭を考えています。村民祭はこれまでふるさと総合センターで行っていましたが、新庁舎で行いたいと思ひます。これには、3年程の時間が掛かると思ひますが、少人数から行き、人数を増やし活動を広げていきたいと考えています。

C班の発表

C班 村民広場を私達のサードプレイス 祭りの場にするために

夏

- プール (プール)
- かき氷
- 風鈴
- ねぶた (ねぶた?)
- カラオケ (カラオケ)
- 盆踊り
- トマト流し (トマト流し?)

冬

- 雪だるま
- 雪像
- かまくら
- つなひき (学校からレンタル)
- おくらまんじゅう (おくらまんじゅう?)
- 雪合戦 (雪合戦)

春

- 花見
- 鯉
- 石碑 (桜の木があれば花見などができると思いました)
- 消防団 (消防団)
- 小学校 (小学校)
- 中学校 (中学校)

主催: 村商工会 (村商工会)

スケジュール

年	2023 (令和5年)					2024 (令和6年)					2025 (令和7年)														
月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
工事						造成工事					本体工事														
開庁																									



村民広場を私達のサードプレイス(祭りの場)にするために

この班では村民広場を私達のサードプレイス(祭りの場)にするためにということで、季節毎にイベントを行いたいと思います。

夏には、プール、かき氷、風鈴、トマト流しを行い、冬は雪だるまや、学校からレンタルして綱引き、参加者バトルロワイヤルでおしくらまんじゅうを行いたいと思います。雪像は消防団の方にお申し、設営してもらいます。かまくらは小学校や中学校の方々をお願いして行いたいと思います。

石碑の箇所に桜の木などがあれば花見などができると思いました。秋にやることを考えたが意見が出てこなかったためカットしました。

開庁時期に合わせて夏フェスを行い、次に冬フェスを行いたいです。場所は村民広場と一般駐車場の広いスペースを最大限利用したいと思います。



空間は出来ても場所になりません。どうやったら、自分の場所になるのか、どこまで自分たちで自由にできるか、どこまで制限しなければならないか事前に考えていくべきだと思います。

全部が、がんじがらめの空間ではなく、みんなが使っているうちにこんな使い方もできるんだ、というようなゆとりが欲しいような気がします。

ゴールは完成時ではなく、ずっとずっと先に繋がっていくいきます。令和6年度、令和7年度とどんどん良くなりながら、進化して欲しいと思います。それに伴い庁舎と一緒に育っていくような気がします。完成した後もこのようなワークショップは重要だと思います。工事中であっても、庁舎のあり方を議論出来たらいいと思います。

今回3回で、このワークショップは終わりますけども、あくまでも実施計画が出来るまでの催し物でこれからが大事なんです。内部と外部をどのように繋げるか、本当の皆さんの場所にするにはこれからが重要だと思います。私もこれから応援したいと思いますし、とても楽しみな令和7年だと思いました。今回のワークショップでこれからの物語が見えてきた気がするので、しっかり進めて欲しいと思います。